

事業名	信州まつもと空港活性化事業費		担当課	部局	企画振興部
				課・局・室	松本空港利活用・国際化推進室
総合5か年計画	プロジェクト	農山村産業クラスター形成プロジェクト		E-mail	airport@pref.nagano.lg.jp
	施策の総合的展開	5-1 高速交通・情報通信ネットワークの充実 3 信州まつもと空港の活性化		実施期間	H6 ~
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	5 賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり			
	施策展開	4-(1) 確かな暮らしを支える地域構造の構築 (ア) 地域に必要なサービス・交流機能の確保			

1 事業の概要

目指す姿	信州まつもと空港にかかる広報宣伝と利用者・旅行会社等への支援を関係機関と連携して取り組み、信州まつもと空港発着の国内定期便の安定的な運航の確保及び増便を目指す。 成果目標：信州まつもと空港利用者数 76千人(H23)→120千人(H29)	
現状(予算編成時)	○平成26年度の信州まつもと空港発着定期便(福岡線・札幌線)の利用者数は、FDA就航以来最高の86千人となった。 ○福岡線については、H27.3.29より復便化が実現し、上半期(H27.4月～9月)において、利用者数は前年度に比べ1.5倍となっているが、利用率は58.6%にとどまっている。 ○札幌線については、夏季(H27.7月～9月)の利用率は87.7%と高い一方、冬季(H26.11月～1月)の利用率は67.0%と落ち込む傾向にある。	
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 市町村・経済団体とともに、県営空港の活性化に向けて県が主体的に取り組む必要がある。 信州まつもと空港利用促進協議会規約
県民との協働による実施：実施は困難		

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)				
	○定期便等の利用者数：120千人 (設定理由：空港の利用状況を表す定期便、季節運航便及びチャーター便の利用者数について、定期便、季節運航便の利用率向上を目指し120千人と設定) ○定期便の利用率70% (設定理由：路線の拡充及び福岡線復便化の維持を図る際の目安として、定期便利用率を70%と設定)				
	② 事業内容 (単位：千円)				
	項目	実施方法	H28実施内容	H28 (補正前) (11月補正) (補正後)	
1. 信州まつもと空港利用促進協議会負担金	負担金	負担先：信州まつもと空港利用促進協議会 ①定期便の利用拡大 ・各種メディアを活用したプロモート企画の実施 ・旅行商品の造成支援 ほか ②季節運航便の利用者確保 ③チャーター便の運航支援 ④空港アクセスの向上 ・空港-松本BT間のシャトルバスの運行支援 ⑤旅行会社に対する商品造成支援、航空会社に対する空港施設使用料等の支援、エアライン商談会への参加(11月補正分)	20,100	9,769	29,869
2. 空の日事業負担金	負担金	負担先：スカイフェスティバルin松本実行委員会 「スカイフェスティバルin 松本」の開催 (県民の方が空港に親しんでもらうためのイベント)	300	0	300
合計			20,400	9,769	30,169

事業コスト	区分(単位：千円)	26年度	27年度	28補正後
	前年度繰越			
	当初予算	22,600	20,400	20,400
	補正予算	3,675		9,769
	合計(A)	26,275	20,400	30,169
	一般財源	26,275	20,400	30,169
	Aの財源			
	県債			
	国庫支出金			
	その他	0	0	0
決算額(B)	26,038	20,400		
概算人件費				
職員数(人)	3.00	3.00	3.00	
概算人件費(C)	24,774	24,774	24,774	
概算事業費(B(A)+C)	50,812	45,174	54,943	

成果目標の達成状況						
項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
			目標	成果	達成状況	
信州まつもと空港利用者数	96.8千人	115千人	120千人			
国内定期便利用率	73.2%	62%	70%			
商談会交渉件数	-	-	15件			
国際チャーター便就航件数	-	-	6便			

要求からの主な変更点	要求どおり
------------	-------